

ワンストップサービスの進捗よく状況は？

議員 区役所において、住民異動や戸籍の届出など市民の日常生活に密着した申請や届出について窓口を移動することなく一括してサービスを提供するワンストップサービスの現在の進捗や今後のスケジュールはどのようになっているのか。

総務市 区役所の日常の市民生活に
民局長 深くかわかる窓口を、住民異動や保健福祉に関する業務のうち定型な申請や届出を取り扱う「総合窓口」と、国保料の減免や児童扶養手当など、相談を経て申請に至る業務を取り扱う「相談の窓口」に大別し、今年度中には各窓口で取り扱う業務などを決定する。

燃油高騰対策について

議員 来年度以降は各区役所のレアウトや職員への研修内容などを検討し、平成22年度以降実施したい。

燃油高騰で存続の危機にある業種や中小零細企業等について

議員 燃油高騰で存続の危機にある業種や中小零細企業等に対し、燃油代の直接補てんによる負担軽減や減税措置を行うべきではないか。

産業経 本市は、本年1月にいち早く「原油や原材料の価格の高騰に伴う中小企業向けの相談窓口を開設し、相談業務を強化することも、中小企業に対する融資制度を拡充した。また、最も影響を受けている建設業に対する総合対策を全庁的に推進するため、2月に関係部局によるプロジェクトチームを設け、今後の建設業の振興策について検討を続けている。

議員 7月に決定された国の「燃油高騰水産業緊急対策」に伴い、燃油高騰の影響の把握や沿岸漁場の整備などに努め、近場での操業を増やすことで漁業者の経費削減を支援している。現在、依然として続く原油や原材料

の価格の高騰を注視し、影響が大きい業種の経営動向と行政への要望の把握に努めている。今後明らかになる国および県の対策を踏まえて、建設業、運輸業、農業、漁業などの業種や中小零細企業等に対するきめ細かな施策を検討し、スピード感を持って実施したい。

おいしくないので？

中学校完全給食モデル事業

議員 中学校完全給食モデル事業のアンケート調査で、多くの生徒、教員から「おいしくないので、この結果について、食育の観点から見解を尋ねる。」

教育長 生徒へのアンケート調査の結果では、「おいしくないので感じた理由は、「味が薄い」が約6割である。一方、保護者試食会では、「おいしくないので」は約3割にとどまっている。

この結果に対して、食育推進会議では、薄味の習慣化が健康管理に大切であり、生活習慣病が食生活に起因していることを教育していただく必要がある。今後とも、学校給食が生徒の健康に配慮した献立や味となっていることについて、生徒や保護者の理解を深めるとともに、献立の募集などで生徒の意見も把握して、生徒が「おいしい」と感じる給食に近づこう努力したい。

ブックスタート事業をPRしよう！

議員

ブックスタート事業の絵本の配布率が、あまり伸びていない。そこで、市民が訪れる機会が多い区役所などに今後設置される「親子ふれあいルーム」で絵本の読み聞かせを実施し、配布も行ってはどうか。

教育長 これまで、ブックスタート事業の対象児童のいる家庭には、はがきで案内するなど、PRに工夫を重ねてきた。その結果、徐々に

配布率は上昇してきているが、さらなる向上が課題である。

親子ふれあいルームは、常駐のスタッフが配置され、親子が気軽に立ち寄り、触れ合う場所であるため、絵本の配布場所にもさわしく、円滑な事業実施も期待できることから、今後、子ども家庭局と連携して、実施に向けて協議を進めていきたい。

*ブックスタート事業

生まれた赤ちゃんと保護者が、絵本を介して向き合い、心の触れ合いひとときを応援する目的で、読み聞かせをし、絵本パックを配布するもの。



絵本パック

市民の利便性に問題は？

市税事務所の設置

議員 来年1月から市内の東西に市税事務所を設置して税務事務を行うことだが、市税事務所がない区の住民の利便性に問題ははないか。

財政局長 市税事務所の設置は、複雑に対応できる専門機関として、簡素で効果的な体制を整備するものである。市税事務所が置かれる小倉北区と八幡西区以外の5区では、個人市民税・軽自動車税の賦課や、証明・選付事務は、これまでどおり区役所で対応を行う。また、税務経験を有する相談員を配置し、市税事務所とのテレビ電話を

通じて相談を受けるなど、特に利便性に留意する。

今後、納税通知書の送付と併せて市税事務所の設置の通知を行うほか、市政だよりやホームページでの広報など周知に努めていく。

どう変わる？市立門司病院

議員 市立門司病院の指定管理者を指定する議案が提案されている。今回の指定管理者候補が運営することによる特徴や、病院運営の収支の見込みを尋ねる。

病院長 病院運営は、当面は現行の診療体制で行い、地域の医療ニーズ等を踏まえ、外来における午後診療や土曜診療の実施、寝たきり防止等を目的とする「回復期リハビリテーション病棟」等を導入することとしている。

診療科は、放射線科を除く現在の診療科に加え、新たに消化器内科、神経内科および泌尿器科を加えた10診療科が提案されている。将来的には、血液腫瘍内科や循環器内科を加えた12診療科を運営することが示されている。

また、病院運営の収支の見込みは、初年度は赤字を想定しているが、3年目以降は経常利益を上げる予定である。このように、今回の提案は一定の期間をかけた着実に収支の改善を図るなど、無理のない妥当なものと考えている。

市民の安全・安心のために消防団の充実強化を！

議員 福岡市の消防団員数は、報酬の増額を行うなどの積極的な働きかけにより、9年ぶりに増加した。

本市も、団員の報酬の引上げ、消防団協力事業所に対する市民税の減免や契約の有資格者登録時の加算などのインセンティブを高めて、消防団の充実や強化を図ってはどうか。

市長 消防団員の報酬は、他都市の状況等を踏まえ、随時改定しており、指定都市の中でも上位である。今後も適正な水準を確保したい。

また、消防団協力事業所に対するインセンティブとして、市民税を減免することは慎重にならざるを得ないが、有資格者登録時の加算等については、検討したい。

消防団員は、仕事をしながら、市民の安全・安心のために活動しており、心から感謝している。今後、指摘のあった件は真剣に検討したい。

今後の収支改善策は？

市経営プラン

議員 本市の大変厳しい財政状況を克服するため、市経営プランの素案が示されたが、どのような歳出削減や歳入対策を行うのか。

市長 本市が持続可能で安定した財政を確立するには、平成21年度および平成22年度の2年間に合計200億円の規模の収支改善を目指す必要がある。

その内容は、今後、各年度の予算編成等の中で具体化していくが、現時点では、①市税等の市債権の徴収強化や未利用市有地の処分などの歳入対策によって60億円程度、②職員8000人体制の実現などの人件費総額の削減によって30億円程度、③公共施設等の維持管理経費の削減など事務事業の見直しによって40億円程度、④投資的経費の削減によって30億円程度、⑤その他の歳入・歳出の見直しによって40億円程度を想定している。

空港跡地周辺のまちづくり

議員

空港跡地周辺のまちづくりを円滑に進めるため、関係部局を一堂に集めた組織を立ち上げてはどうか。また、空港跡地周辺の道路

整備や、新門司の工業団地から空港跡地、臨空産業団地を結ぶ都市計画道路6号線の整備計画の決定時期はいつか。

市長 昨年11月に副市長を長として関係部局が横断的に連携を図るプロジェクトチームを設置し、体制の強化を図った。

空港跡地周辺の道路整備については、土地利用の具体化や地区内の基盤整備と併せて整備を推進していく方針である。また、都市計画道路6号線については、空港へのアクセスの利便性向上などの面から早期整備が必要な路線である。平成21年度を目標に都市計画の変更を行い、速やかに事業に着手できるように努めた。

本市の財政状況は？

議員 財源調整用の三つの基金の昨年度残高は、市経営基本計画の見込額201億円を大きく上回り、実質、ペースで430億円であり、財政状況はむしろ好転しているのではないか。この要因と今後の財政状況の見通しを尋ねる。

市長 財源調整用基金の残高が見込みを上回った要因は、昨年度の経営改善額が経営基本計画の目標額を上回ったことや、過去2カ年度に見込み以上の不用額が生じたことなどである。

これらの基金の残高は、災害等の非常事態への対応を考えると、安定的な財政運営のために一定額を保有しておく必要がある。その額は300億円から400億円程度を目安と考えている。

今後は、平成21年度および平成22年度において、現在抱えている200億円の規模の構造的な収支不足の克服を図り、基金の取崩しに頼らない持続可能で安定的な財政運営を目指したい。